

# 評価と単位認定について

## 1. 単位認定とは

評価は、科目ごと、授業態度や課題・試験等を通して行われ、学期末は10段階、学年末は10段階と5段階で評価されます。

学年末の評価において、10段階、5段階とも2以上の評価がついた場合は、その科目の単位は認定されます(単位認定)。しかし、評価が1になった場合は、その科目の単位は認定されません(単位不認定)。単位不認定となった科目が一つでもあれば(進路に必要ななしに関わらず)、進級あるいは卒業ができず、同一学年の学習をもう一度やり直すこととなります(原級留置)。本校で、進級、卒業するためには、学年ごと、すべての科目で単位が認定されていく必要があります。

## 2. 単位認定の条件

単位認定は、次のことがすべて満たされていることが条件です。

- (1) 必要な出席時数を満たしている。
- (2) 授業への参加態度が良好である。
- (3) 課題等の提出がなされている。
- (4) 定期考査(中間考査・期末考査・実力テスト等)において、基準点以上の点数を取っていること。  
(基準点未満だった場合は、追試などによって基準点を満たすことが必要となる。)

## 3. 授業に臨む態度

高校一年生になった皆さんがまず肝に銘ずることは、授業を大切にすることです。目的意識をもち、予習・復習をした上で授業に臨みましょう。また授業間の休憩は次の授業への準備として活用しましょう。

理由もなく授業を休む、授業に遅れる、必要な予習・復習・課題をやらないなどは、授業をおろそかにしている気持ちの顕れです。高校生の本分である学習をおろそかにしないことが、充実した高校生活の必要条件となります。

高校生活を充実させるためには、生徒会活動、班活動などに積極的に参加するとともに、最優先として学習をおろそかにしない決意が必要です。まずは学習、そのために授業に真剣に臨んでください。